

報道提供資料

平成15年10月23日(木)
午前 11時

同時提供先
福井県、三重県、滋賀県、京都府、 大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、 徳島県、京都市、大阪市、神戸市の 各府県市政記者クラブ 及び 京都、大阪、神戸の経済記者クラブ

問い合わせ先
関西広域連携協会 企画第一部 部長：柳井 主任調査役：鈴木 Tel:06-4803-5572 Fax:06-4803-5574

『関西・新環境生活』の提案

2003

『関西夏のエコスタイル・キャンペーン』

の実施結果について

関西広域連携協議会

関西広域連携協議会では、地球温暖化を始めとする環境問題の解決に向け、オフィスの適正冷房の徹底による省エネルギーの推進を目的に、夏季の軽装勤務を呼びかける「関西夏のエコスタイル・キャンペーン」を6月22日(夏至)から9月23日(秋分の日)まで3ヵ月間にわたって展開しました。その実施結果について取りまとめたものです。



関西・新環境生活の提案

地球温暖化防止をめざした

『関西夏のエコスタイル・キャンペーン』の実施



関西広域連携協議会では、構成団体と協力して、平成11年から「関西夏のエコスタイル・キャンペーン」を展開。5年目を迎えた今年は6月22日～9月23日迄実施しました。

趣旨

地球温暖化防止のためさまざまな取り組みが進められています。その中で、私たちの『ライフスタイルの変革』による取り組みの重要性が増してきています。

本キャンペーンは、地球温暖化防止に有効な省エネルギーの推進を目的として、夏季、オフィス等の適正冷房の徹底とそれを補完する手段として軽装を呼びかける運動です。蒸し暑い真夏でも「軽装では相手に失礼」といった考え方を、「夏の軽装は省エネにつながり環境にやさしい。軽装こそ良識」というものに変えていくことにより、適正冷房を無理なく採り入れ、環境と共生する新しい文化を関西から発信しようとするものです。

今年は、キャンペーンの更なる浸透と他地域への拡大を目指して展開しました。

内 容

1 適正冷房の徹底

- ・事務所、会議室における適正冷房の実施(28)
- ・電車、バスなど公共的な場所における過冷房の抑制
(弱冷房の採用)

2 軽装の奨励

職場における服装として信用と品位を損なわず、暑苦しさや不快感を感じさせない清潔感のある軽装を奨励します。

実施結果

関西広域連携協議会の構成団体と、その域内の全市町村、主要企業に対してアンケート調査を実施し、適正冷房や軽装の実施状況、効果等についてまとめました。

【アンケート調査数】

合計

- ・回答数 613 件/調査数 993 件、回答率・・・62%

内訳

- ・KC構成団体* (回答 18 団体/依頼 18 団体、回答率 100%)
- ・関西9府県域内の市町村 (回答 470 自治体/依頼 474 自治体、回答率 99%)
- ・関西9府県内の主要企業 (回答 125 社/依頼 501 社、回答率 25%)

【KC構成団体】

- 2府7県3政令市 福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、京都市、大阪市、神戸市
- 6経済団体 (社)関西経済連合会、大阪商工会議所、(社)関西経済同友会、関西経営者協会、京都商工会議所、神戸商工会議所

キャンペーンの認知度

	市町村	企業	計
キャンペーンを知っている	95%	82%	92%

実施状況

【適正冷房の実施率推移】

団体別		以前 (H10)	1年目 (H11)	2年目 (H12)	3年目 (H13)	4年目 (H14)	5年目 (H15)
自治体	KC 構成団体	75%	100%	100%	100%	100%	100%
	市町村	37%	44%	56%	72%	84%	89%
経済界	KC 構成団体	14%	71%	71%	71%	71%	100%
	企業	41%	45%	56%	63%	79%	81%
計		38%	45%	57%	70%	83%	87%

【軽装の実施率推移】

団体別		以前 (H10)	1年目 (H11)	2年目 (H12)	3年目 (H13)	4年目 (H14)	5年目 (H15)
自治体	KC 構成団体	50%	92%	100%	100%	100%	100%
	市町村	33%	40%	53%	72%	79%	86%
経済界	KC 構成団体	14%	71%	86%	86%	86%	83%
	企業	30%	34%	44%	51%	57%	66%
計		32%	39%	51%	66%	75%	83%

コメント

(1) 全体の実施率は5年間で大幅に向上

5年目に入り、本キャンペーンの認知度は92%となり、実施率はキャンペーン開始以前と比べて、適正冷房で38% → 87%、軽装で32% → 83%と大幅に向上しました。

(2) 官民への浸透

適正冷房の実施率は官民共に80%以上で好成績となりました。しかし、民間の軽装の実施率は66%で今ひとつ浸透は進んでいない結果となりました。

- ・市町村の所属府県別実施率を比較すると、適正冷房はほとんどの府県で実施率80%以上となっています。軽装については実施率100%の福井県、兵庫県をはじめ実施率80%以上が6府県となりました(昨年度は4府県)。今後も関西エリア内の全自治体に均一に浸透するよう働きかけていきたいと考えています。
- ・企業アンケートによると、軽装を実施しない理由は『軽装を実施したいが、まだ社会に容認されておらず相手に失礼』がほとんどで、(54%)となっています。その他では『ビジネスマンとして正装は当然』(23%) 『相応しい軽装がない』(12%) が代表的な意見でした。しかし軽装の実施企業では、『軽装は社会的コンセンサスを得ている』と認識されています。今後も環境対策として軽装の積極的な採用を働きかけていきたいと考えています。

(3) 議会への浸透

KC構成団体議会(議員)において、委員会レベルではすべて軽装(一部含む)を採用。しかし、本議会での軽装採用は奈良県、大阪府、兵庫県、神戸市の4自治体のみで、昨年同様未だ少数派。アンケート結果でも民間での定着には自治体の率先実践が有効との意見が多く寄せられていることを考慮すると、今後本議会への浸透が期待されます。

なお、市町村議会(議員)では、委員会で49%(昨年41%)、本議会で34%(昨年27%)が軽装を採用しました。前年度に比べ向上はしていますが、未だ50%以下の結果となっています。

今年のトピックス

中部圏との連携

今年から、中部圏でも中部圏知事会が主導し、その構成団体9県1市で「中部圏サマーエコスタイルキャンペーン」が関西と期日を統一して開始、運動に弾みがつくこととなりました。関東圏を始め、その他の地域にも拡大されることを期待しています。

銀行やホテルでもエコスタイル

従来から積極的に取り組んでこられた「百五銀行」、「びわこ銀行」に加え、今年から「南都銀行」、「徳島銀行」、「瀬田アーバンホテル」でも弱冷房とエコスタイルを実施。環境問題に真剣に取り組んでいる企業の姿勢に顧客の反応も良好で、「銀行が実施してくれるれば、軽装に抵抗が少なくなる」「導入に慎重なサービス業界のホテルでも採用されたことは大きな進展」などの意見も寄せられました。

エコスタイルデザイン画コンテスト

滋賀県では、「～職場のあの人に着てほしい～大人のこだわりを表現する夏のビジネススタイル」をテーマに新しい夏のエコスタイル画のコンテストを実施。表彰や優秀作品を試作し県のHPや展示会で紹介するなどの運動を展開しました。

県内市町村の取り組みをHPで紹介

奈良県では、県の「環境情報ホームページ」の中での域内市町村の取り組み状況の紹介をはじめ、トップの率先実行など積極的なPRが県民のエコスタイルへの理解向上につながり、実施率の大幅向上に結びつきました。

会員企業への働きかけ

関西経済連合会では、独自にキャンペーンポスター2000枚を希望会員企業に配布し「適正冷房」の普及に取り組みました。

効果

取組の効果については、次のような意見が多く寄せられました。

冷房コスト削減

温暖化をはじめとする地球環境問題に対する職員・社員の意識向上

冷房病の予防等、職員・社員の健康管理への配慮

『軽装こそ良識』と呼びかけてきた本キャンペーンは、今年も前進することが出来ました。アンケートではキャンペーンの継続を希望する声が多数寄せられております。そこで、来季以降についても今年と同様「関西エコオフィス宣言」の夏の活動の一環と位置づけたキャンペーンとして継続していく予定です。

ご参考

関西広域連携協議会について

情報革命、グローバル化、地球環境問題、経済の成熟化と停滞など、今日の大転換期を迎える中で、府県市域や官民の壁を超え関西が一体となって広域的諸課題に取り組むことにより関西全体の活性化を図ることを目的に、関西の2府7県3政令都市と経済団体が結集し、平成11年6月に設立された組織です。

URL: <http://www.kansai.gr.jp/kc/index.asp>

Kansai Window について

「Kansai Window」は、関西のポータルサイトとして、関西広域連携協議会（KC）と関西国際広報センター（KIPPO）が共同で運営し、観光・ビジネス・イベント・文化など関西の情報を4カ国語で発信しています。

URL: http://www.kansai.gr.jp/index_j.asp